

事業計画書

様式第2号-1

■当初

□最終

作成年月日	令和6年 7月 29日
法人名	株式会社ハッピーワン
代表者職名前	代表取締役 森原幸一
担当者名	連絡先

受理	2024年 4月 26日
関係者への意見聴取	☒ 市 建築指導課 消防局予防課 都市計画課 ☒ 福山市障がい福祉サービス等の指定に係る懇話会 ☐ ☐
回答	2024年 10月 21日

1 協議事項

事業種別	就労継続支援B型	事業所名	あいサポート工房	開設(変更)予定日	2024年11月1日
------	----------	------	----------	-----------	------------

協議の種類	計画の概要		本計画書に記載が必要な項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
協議の種類	☒ 新規事業所の開設 ☐ 事業の追加	☐ 共生型サービス	○	○	○		○	○	○								
		☒ 共生型サービス以外 ☐ 多機能型サービス	☐ 新築予定 ☒ 賃借・自己所有 ☐ 新築予定 ☐ 賃借・自己所有 ☐ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	☐ 定員の変更	☐ 就労継続支援A型	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		☐ 共同生活住居の追加	○	○	○		○	○									
		☐ 上記以外	○	○	○	○	○	○									
	☐ 大幅な事業内容の変更 ※△は生産活動を行う事業		○	○	○	△	○	○	○					○	○		○
	☐ 事業所の移転		○	○	○		○	○	○							○	
	☐ 建物の構造・設備の変更		○	○	○		○	○	○				○	○			

※必要に応じて○△が無い部分も記入いただく場合があります。

2 事業実施に係る動機

私がこの就労継続支援B型事業を始めたいと思ったきっかけは、長年にわたり福祉、介護の仕事に携わってきた中で、在宅障がい者の方々に何かお役に立てるような仕事をしてみたいと考えたからです。施設に集い日々の生活が充実し楽しく過ごせるような居場所づくり、そして働くことの喜びを感じられるような作業所を目指します。障がい者の方々の様々なニーズに対応し、必要な人に必要なサービスをきめ細かに提供できるよう地域密着型の障がい福祉サービス事業を作りたいと思っています。 具体的には当事業所ではめだかの育成、繁殖事業を行います。可能な利用者には、一人ひとりに担当水槽を決め、責任をもってめだかを育てていただきます。実際に育てためだかを販売まで行っていただくだけでなく、めだかに関する知識を講義や実践を通して学ぶことができます。 アニマルセラピーという言葉があるように、生き物は眺めているだけでも情緒安定につながるといいます。生き物を育て繁殖にもチャレンジすることで生命の神秘に触れる事ができます。生き物を扱う就労継続支援B型事業所は全国的に見てもそう多くありません。利用者には困難に思われるかもしれませんが、スタッフ全員でめだかの育成をサポートしていきます。そのために外部のめだか繁殖、販売を行っている一般事業者様の会社を見学させていただいたり、めだか育成に関するノウハウを研究していきます。 また利用者の中には生き物と向き合うことが難しい方もいらっしゃると思います。生き物を育てることは簡単ではありません。そのような方も当事業所を離れていくのではなく、簡単に可能な軽作業を行っていただくように準備しておき、めだかを眺めたり、生き物と身近に接してもらうことが良いと考えています。その結果、安定した心が育まれ、めだか育成へとステップアップして行かれることがあるかもしれません。 我々は関わる全ての人々、利用者その家族含めて全員が幸せを感じられる事業所として運営していきたいと考えております。	意見
---	----

3 法人の概要

設立年月日	平成22年 6月 18日	意見
法人が実施する主な事業	① 就労継続支援B型	割合 100 %
	②	割合 %
	③	割合 %
法人の理念	一人ひとりの個性を尊重し、障害のある方の自立と社会参加の実現を目指します	
法人の基本方針	1. 利用者一人ひとりのニーズに合わせた個別支援計画を作成し、その実現に向けて支援を行います。 2. 作業を通して、就労に必要な能力や社会性を育成するとともに、心身の健康の保持増進を図ります。 3. 地域との連携を強化し、利用者が地域社会の一員として生活できるよう支援を行います。	

4 法人の主要取引先

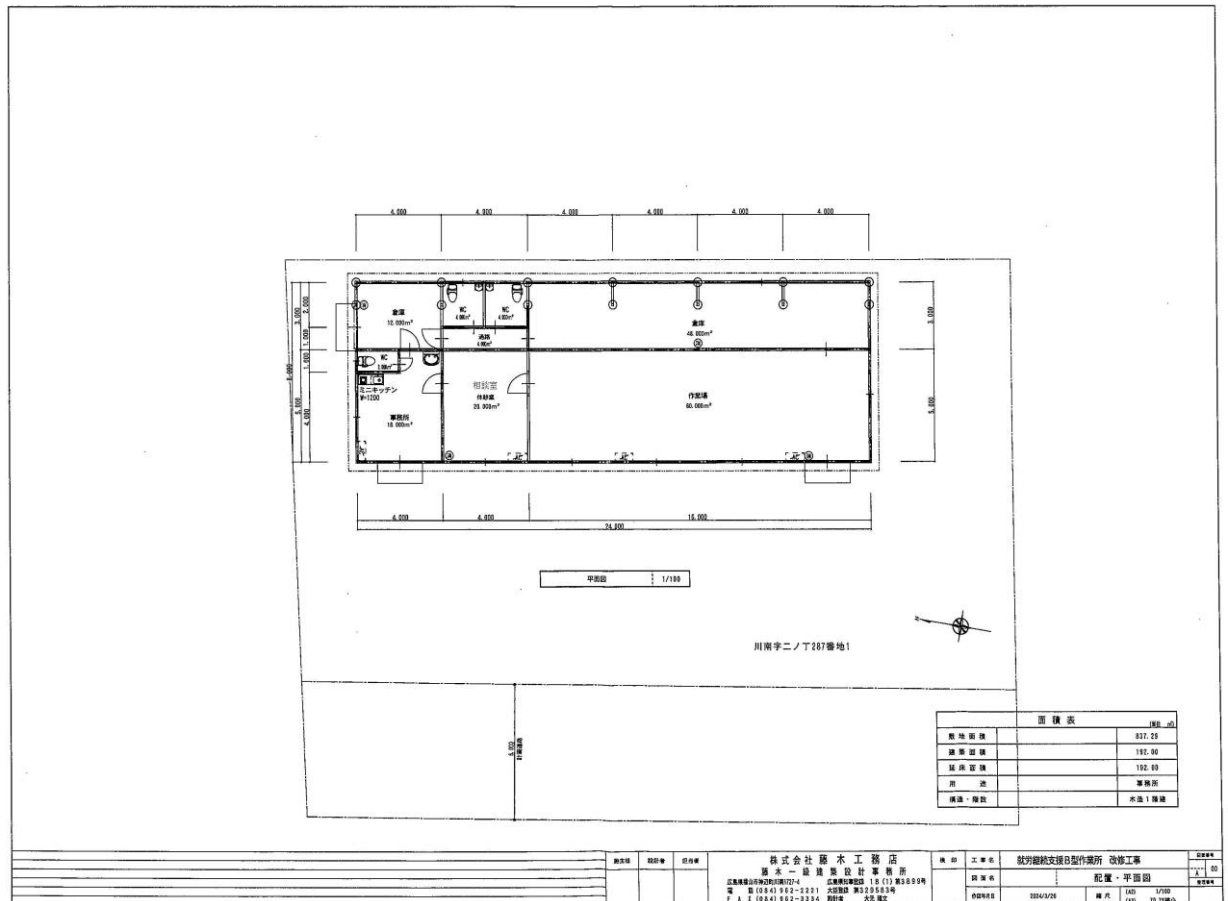
上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	意見
	100 %	%	日 日回収	
	100 %	%	メダカの仕入を行う際に都度購入する。	

5 施設の概要【平面図は7のとおり】

土地	所在地	広島県福山市神辺町大字川南287番地1				用途区域	第一種住居地域		意見			
	所有者					抵当権	☐ なし					
建物	名称	なし				構造	木造		【建築指導課】 ・建築基準法上の用途は「児童福祉施設等」に該当しますが、用途を変更する床面積が200㎡以下のため、建築基準法上の手続は不要です。 ・手続きが必要な場合であっても、建築士等に相談し、建築基準法に適合する計画としてください。			
	所有者									抵当権	☐ なし	
	用途	事務所				建築年	平成29 年					
	階層	平家建	地上	1	階	地下						
事業の概要	①	種別	就労継続支援B型							【消防局予防課】 ・建物全体を就労継続支援B型として使用することから、消防法上の用途については6項ハとして取り扱います。 ・必要となる消防設備等は、消火器、誘導灯(2階を除く)及び非常警報器具です。 ・新たにカーテン、じゅうたん等を使用する場合は、防災物品とする必要があります。		
		手続	新規		使用する階	1	階	専有面積	192		㎡	
		収容人員	23	人	内訳	職員	3	人	利用者		20	人
		種別										
	②	手続			使用する階		階	専有面積		㎡		
		収容人員	0	人	内訳	職員		人	利用者		人	
		種別										
		手続			使用する階		階	専有面積		㎡		
	③	種別								【都市計画課】 ・都市計画法第4条第12項に規定する「開発行為」に該当しないため、同法第29条第1項の開発許可は不要と判断されます。		
		手続			使用する階		階	専有面積			㎡	
収容人員		0	人	内訳	職員		人	利用者			人	
種別												
内容	申請種別	☐ 新築 ☐ 増築 ☒ 用途変更 ☐ 移転 ☐ その他										
	建物を賃借して就労継続支援B型事業所を行います。											

6 付近図

小学校区 神辺小学校 人口 10,395 人 同種の事業所数 1 事業所 利用定員合計 20 人 当該地域における開設事業のニーズ分析について(新規開設の場合のみ記載) 現在、学区内に就労継続支援B型事業所は1か所あるが、当事業所の開設により、近隣地域の人々に福祉サービスを受ける機会を増やすことができる。また、当事業所では簡単な軽作業を予定しており、誰もが取り組みやすい作業を実施している。 凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先 ※付近図に、事業所から一次避難先及び二次避難先への避難経路を記載すること。 一次避難先までの距離 1,700 m 移動手段 車4分、徒歩16分 二次避難先までの距離 1,800 m 移動手段 車4分、徒歩17分 付近図掲載省略	意見
---	----



8 従業員

職種	雇用形態			名前	年齢	月給	意見
管理者	☒	常勤			48	30 万円	・人員が高齢な件について、将来的な若手の人材確保について見直しはありますか。
サービス管理責任者/児童発達支援管理責任者	☒	常勤			48	0 万円	
生活支援員	☒	常勤	☐	非常勤	73	20 万円	
職業指導員	☒	常勤	☐	非常勤	68	20 万円	
	☐	常勤	☐	非常勤		万円	
	☐	常勤	☐	非常勤		万円	
	☐	常勤	☐	非常勤		万円	
	☐	常勤	☐	非常勤		万円	
	☐	常勤	☐	非常勤		万円	
	☐	常勤	☐	非常勤		万円	
月給計					70	万円	
人件費 末日 20 日支払 ボーナスあり					7 月 12 月		

9 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	意見
		万円	万円	
		万円	万円	
		万円	万円	

10 必要な資金と調達方法

必要な資金		金額	調達方法	金額	意見
設備資金	土地	0 万円	補助金	0 万円	
	建物	0 万円	自己資金	660 万円	
	設備	290 万円	借入金	0 万円	
	車両	0 万円			
	その他	30 万円			
運転資金		340 万円			
合計		660 万円	合計	660 万円	

11 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	意見
利用者見込 A	5 人	10 人	15 人	15 人	・利用定員の見込みは適切ですか。 ・作業量積算根拠について、緩衝材の袋詰め作業3時間とめだか育成の作業を両立できますか。
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	11 万円	11 万円	11 万円	11 万円	
収入 給付費 ※2	万円	万円	55 万円	165 万円	
収入 諸収入	万円	万円	万円	万円	
収入計 ①	0 万円	0 万円	55 万円	165 万円	
支出 人件費	73 万円	73 万円	73 万円	73 万円	
支出 旅費・交通費	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	
支出 賃借料	30 万円	30 万円	30 万円	30 万円	
支出 通信費	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円	
支出 諸経費 ※4	3 万円	6 万円	9 万円	9 万円	
支出 支払元金利息	万円	万円	万円	万円	
支出計 ②	120 万円	123 万円	126 万円	126 万円	
収支 ①-②	-120 万円	-123 万円	-71 万円	39 万円	
生産活動 収入 B	12 万円	24 万円	36 万円	36 万円	
生産活動 売上高 ※3	3.5 万円	7 万円	10.5 万円	10.5 万円	
生産活動 支出 C	8.5 万円	17 万円	25.5 万円	25.5 万円	
生産活動 必要経費	3 万円	5 万円	7 万円	7 万円	
生産活動 利用者賃金	9 万円	19 万円	29 万円	29 万円	
最賃確保状況(A型) (((B-C)/25)/8)/A	円	円	円	円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

基本報酬(490)+送迎加算(往復20)月22日計算

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
下段:所在地			
	10 万円	☐ あり ☐ なし	

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

主な事業所の生産品(生産活動を行った場所以に記入)														
生産品	1時間の生産額			計算式					1月当たりの生産額					
内職	108	円	×	3	H	×	22	日	×	15	人	=	10.6	万円
		円	×		H	×		日	×		人	=		万円

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

12 事業計画

(1)事業概要	意見
事業種別:就労継続支援B型 利用定員:20人 営業日:月曜日から金曜日までとする。ただし、国民の祝日及び12月29日から1月3日までを除く 営業時間・サービス提供時間:8時30分～17時30分・10時～14時 主たる対象者:身体障害者、知的障害者、精神障害者 送迎の有無:有 協力医療機関:岩崎整形外科・心療内科 その他:なし (2)開設事業に係る理念・基本方針 - 一人ひとりの個性を尊重し、希望に沿った就労を通して、社会参加を促進する支援体制を構築する。 - 役割を明確にすることで、達成感や成長を実感できる環境を作る。 (3)事業内容 - 緩衝材の袋詰め - めだか&関連商品販売(メダカの産卵床やお掃除グッズ、などハンドメイドして販売します) - めだか繁殖、育成(利用者の方には一人一人担当水槽を、責任をもってめだかの育成・販売をしていただきます。自分で育てためだかを自分で販売することで働くことの楽しさ、やりがいを感じることができます。) - めだかは当事業所で直売も行います。(すでにホームページを作成しており、宣伝しています。)	・めだかの販売方法について具体的に記載してください。

13 利用者処遇

(1)具体的な支援(療育)内容及び目的	意見
・家族や本人が抱える課題やニーズを丁寧に把握し、必要な援助や助言を提供しやすい環境を整備する。 ・相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、本人が安心して話せるよう支援を行う ・それぞれの利用者の強みや弱み、興味・関心を把握し、個々の特性に合った作業内容を分析する。 ・作業を通して、個々の能力を最大限に発揮できるよう支援を行う。 ・利用者一人ひとりの意思決定を尊重し、主体的に訓練に取り組める環境を整備する。 ・訓練目標の設定や進捗状況の確認等を通して、自立性を高めていく。 ・作業訓練を通して、必要な知識やスキルを習得し、能力向上を図る。 ・本人の希望や目標に合わせて、一般就労に向けた支援を行う。 ・就労移行に向けて、必要な情報提供や面接練習等を実施する。 (2)支援を行うために必要となる職員の経験・有する資格など - 准看護師の資格を保有しており、デイサービスで手作業の講師経験がある - 自営業で飲食店経験や物品の個人売買の経験もある (3)職員の質向上のための教育・研修計画 - 定期的な社内研修を実施 - その他外部の研修にも積極的に参加する (4)感染症対策 - マニュアル作成、研修を実施する (5)事故防止等の安全確保策及び発生時の対応 - マニュアル作成、研修を実施する - 避難訓練、研修等を実施する (6)関係機関との連携 - 市役所、保健所、医療機関、就労支援機関等、関係機関と密接な連携を図り、情報共有や共同支援体制を構築します。 - 多角的な視点から支援を行い、より効果的なサービス提供を目指す。 (7)家族(保護者)支援 - サービス管理者を中心に、家族の相談支援をしていく。 - 利用者や家族の意見を積極的に取り入れ、質の高いサービス提供を目指す。	

14 防災計画

○災害時の対応体制 ・災害時の指揮系統、避難経路、関係機関との連絡体制の整備 ・備蓄品準備・避難訓練の実施を行う ○避難先 一次避難先: 神辺小学校 距離, 避難方法及び時間: 1.7km 徒歩16分 二次避難先: 神辺公民館 距離, 避難方法及び時間: 1.8km 徒歩17分 ○防災計画等の作成 防災マニュアルの作成と周知 ○避難訓練の実施計画 年1回、全ての利用者及び職員で実施する	意見
---	----

15 一日の流れ

営業日								営業時間	サービス提供時間
月	火	水	木	金	土	日	祝		
☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	8時30分～17時30分	10時～14時

8 時 3 0 分 ～ 9 時 4 0 分 出勤、送迎 9 時 5 0 分 ～ 10 時 0 0 分 朝礼、出席 10 時 0 0 分 ～ 12 時 0 0 分 作業(間休憩を含む) 12 時 0 0 分 ～ 13 時 0 0 分 昼食 13 時 0 0 分 ～ 14 時 0 0 分 作業(間休憩を含む) 14 時 0 0 分 ～ 17 時 3 0 分 送迎、事務作業、退社 時 分 ～ 時 分	意見
---	----

※上記と異なる営業時間・サービス提供時間がある場合に記載すること。

営業日								営業時間	サービス提供時間
月	火	水	木	金	土	日	祝		
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		

時 分 ～ 時 分 時 分 ～ 時 分 時 分 ～ 時 分 時 分 ～ 時 分 時 分 ～ 時 分 時 分 ～ 時 分 時 分 ～ 時 分	意見
--	----

様式第2号-2

■最終

受付印

受付印

協議の種類	計画の概要			本計画書に記載が必要な項目														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
	☒ 新規事業所の開設 ☐ 事業の追加	☐ 共生型サービス ☒ 共生型サービス以外 ☐ 多機能型サービス	☐ 新築予定 ☒ 賃借・自己所有	○	○	○		○	○	○								
			☐ 新築予定 ☐ 賃借・自己所有 ☐ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	☐ 定員の変更	☐ 就労継続支援A型 ☐ 共同生活住居の追加 ☐ 上記以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			○	○	○	○	○	○										
			○	○	○	○	○	○										
☐ 大幅な事業内容の変更 ※△は生産活動を行う事業 ☐ 事業所の移転 ☐ 建物の構造・設備の変更		○	○	○	△	○	○	○				○	○		○			
	○	○	○		○	○	○							○				
	○	○	○		○	○	○				○	○						

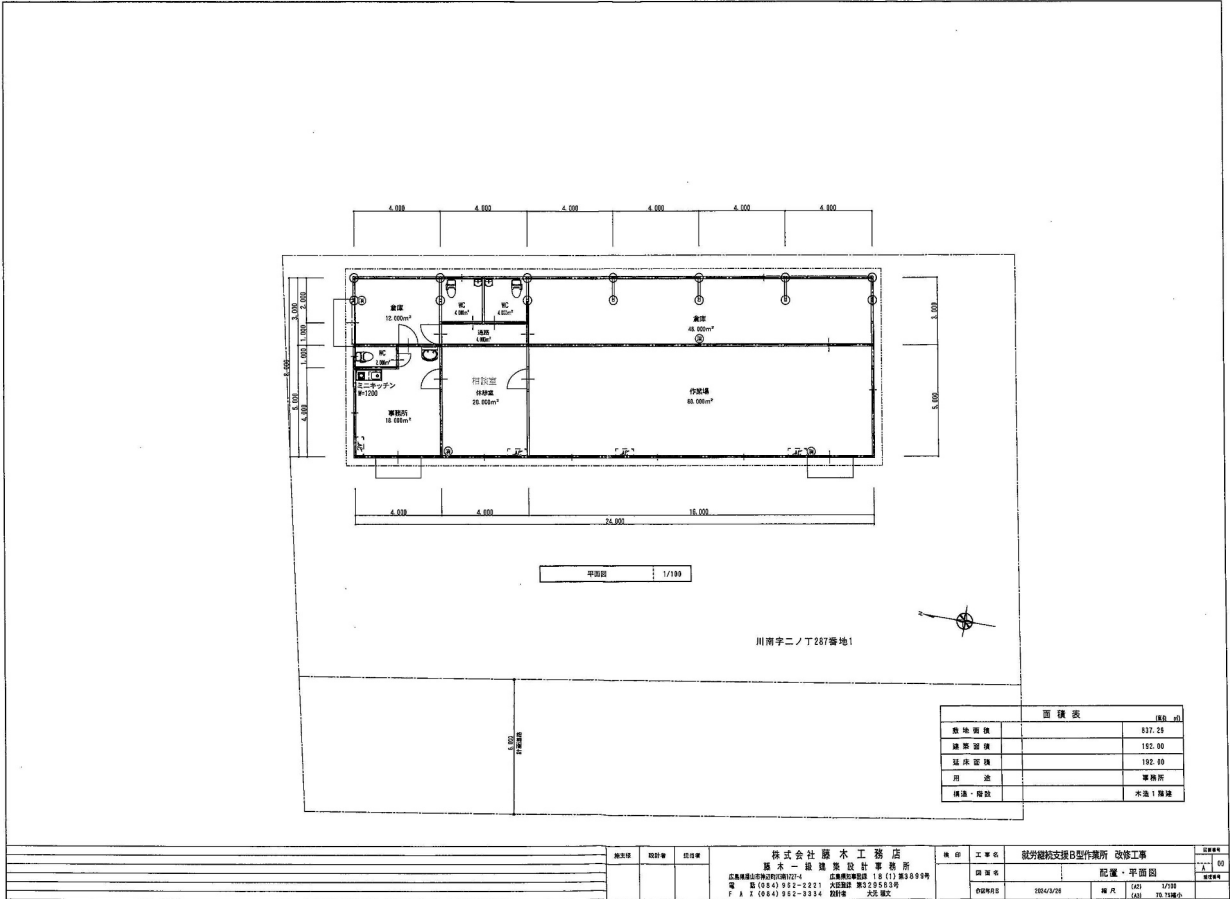
上段:取引先 下段:所在地	割合		掛取引		回収・支払の条件			主な修正点
	100	%		%		日	日回収	
	100	%		%	メダカの仕入を行う際に都度購入する。			

5 施設の概要【平面図は7のとおり】

土地	所在地	広島県福山市神辺町大字川南287番地1				用途区域	第一種住居地域		主な修正点		
	所有者					抵当権	☐ なし				
建物	名称	なし								・建築士等に相談し、建築基準法に適合する計画とします。 ・必要な防火設備はすべて設置済みです。 ・カーテン、絨毯は現在使用していません。	
	所有者					抵当権	☐ なし				
	用途	事務所				構造	木造				
	階層	平家建	地上	1	階	地下	階	建築年	平成29		年
	建築面積	192				m ²	延面積	192		m ²	
	事業の概要	①	種別	就労継続支援B型							
		手続	新規		使用する階		1	階	専有面積		192
収容人員		23	人	内訳	職員	3	人	利用者	20		人
種別											
	②	手続			使用する階			階	専有面積		m ²
	収容人員	0	人	内訳	職員		人	利用者		人	
	種別										
	手続			使用する階			階	専有面積		m ²	
	③	収容人員	0	人	内訳	職員		人	利用者		人
	種別										
	手続			使用する階			階	専有面積		m ²	
	収容人員	0	人	内訳	職員		人	利用者		人	
内容	申請種別	☐ 新築 ☐ 増築 ☒ 用途変更 ☐ 移転 ☐ その他									
	建物を賃借して就労継続支援B型事業所を行います。										

6 付近図

小学校区	神辺小学校	人口	10,395	人	同種の事業所数	1	事業所	主な修正点
					利用定員合計	20	人	
当該地域における開設事業のニーズ分析について(新規開設の場合のみ記載) 現在、学区内に就労継続支援B型事業所は1か所あるが、当事業所の開設により、近隣地域の人々に福祉サービスを受ける機会を増やすことができる。また、当事業所では簡単な軽作業を予定しており、誰もが取り組みやすい作業を実施している。								凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先
※付近図に、事業所から一次避難先及び二次避難先への避難経路を記載すること。 一次避難先までの距離 1,700 m 移動手段 車4分、徒歩16分 二次避難先までの距離 1,800 m 移動手段 車4分、徒歩17分								
付近図掲載省略								



8 従業員

職種	雇用形態			名前	年齢	月給	主な修正点	
管理者	☒	常勤			48	30万円	長期的な人材確保のため、ハローワークなどで人材募集を継続して行っています。	
サービス管理責任者/児童発達支援管理責任者	☒	常勤			48	0万円		
生活支援員	☒	常勤	☐		非常勤	73		20万円
職業指導員	☒	常勤	☐		非常勤	68		20万円
	☐	常勤	☐		非常勤			万円
	☐	常勤	☐		非常勤			万円
	☐	常勤	☐		非常勤			万円
	☐	常勤	☐		非常勤			万円
	☐	常勤	☐		非常勤			万円
	☐	常勤	☐		非常勤			万円
	☐	常勤	☐		非常勤			万円
	☐	常勤	☐		非常勤			万円
					月給計	70万円		
人件費		末	日	20	日支払	ボーナスあり	7月12月	

9 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	主な修正点
		万円	万円	
		万円	万円	
		万円	万円	

10 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	主な修正点
土地	0 万円	補助金	0 万円	
建物	0 万円	自己資金	660 万円	
設備	290 万円	借入金	0 万円	
車両	0 万円			
その他	30 万円			
運転資金	340 万円			
合計	660 万円	合計	660 万円	

11 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	主な修正点
利用者見込 A	5 人	10 人	15 人	15 人	地域における就労継続支援のニーズは多いものと判断しており、知人を通じた紹介の幅を広げて利用者様を集めていきたいと考えています。
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	11 万円	11 万円	11 万円	11 万円	
収入 給付費 ※2	万円	万円	55 万円	165 万円	
収入 諸収入	万円	万円	万円	万円	
収入計 ①	0 万円	0 万円	55 万円	165 万円	
支出 人件費	73 万円	73 万円	73 万円	73 万円	
支出 旅費・交通費	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	
支出 賃借料	30 万円	30 万円	30 万円	30 万円	
支出 通信費	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円	
支出 諸経費 ※4	3 万円	6 万円	9 万円	9 万円	
支出 支払元金利息	万円	万円	万円	万円	めだか育成については職員もサポートしながら可能な範囲で徐々にめだかの事業を増やしていきたいと考えています。
支出計 ②	120 万円	123 万円	126 万円	126 万円	
収支 ①-②	-120 万円	-123 万円	-71 万円	39 万円	
生産活動 収入 B	12 万円	24 万円	36 万円	36 万円	
生産活動 売上高 ※3	3.5 万円	7 万円	10.5 万円	10.5 万円	
生産活動 支出 C	8.5 万円	17 万円	25.5 万円	25.5 万円	
生産活動 必要経費	3 万円	5 万円	7 万円	7 万円	
生産活動 利用者賃金	9 万円	19 万円	29 万円	29 万円	
最賃確保状況(A型)	円	円	円	円	
(((B-C)/25)/8)/A					

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

基本報酬(490)+送迎加算(往復20)月22日計算

※2 給付費は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
下段:所在地			
	10 万円	□ あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品	1時間の生産額	計算式	1月当たりの生産額
内職	108 円	× 3 H × 22 日 × 15 人 =	10.6 万円
	円	× H × 日 × 人 =	万円

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

12 事業計画

(1)事業概要	主な修正点
事業種別:就労継続支援B型 利用定員:20人 営業日:月曜日から金曜日までとする。ただし、国民の祝日及び12月29日から1月3日までを除く 営業時間・サービス提供時間:8時30分～17時30分・10時～14時 主たる対象者:身体障害者、知的障害者、精神障害者 送迎の有無:有 協力医療機関:岩崎整形外科・心療内科 その他:なし (2)開設事業に係る理念・基本方針 - 一人ひとりの個性を尊重し、希望に沿った就労を通して、社会参加を促進する支援体制を構築する。 - 役割を明確にすることで、達成感や成長を実感できる環境を作る。 (3)事業内容 - 緩衝材の袋詰め - めだか&関連商品販売(メダカの産卵床やお掃除グッズ、などハンドメイドして販売します) - めだか繁殖、育成(利用者の方には一人一人担当水槽を、責任をもってめだかの育成・販売をしていただきます。自分で育てためだかを自分で販売することで働くことの楽しさ、やりがいを感じることができます。) - めだかは当事業所で直売も行います。(すでにホームページを作成しており、宣伝しています。) - めだかの具体的な販売方法として、インターネットを通じて全国から購入者を募り、宅配にて郵送する販売方法を想定しています。	具体的な販売方法を追記しました。

13 利用者処遇

(1)具体的な支援(療育)内容及び目的	主な修正点
家族や本人が抱える課題やニーズを丁寧に把握し、必要な援助や助言を提供しやすい環境を整備する。 - 相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、本人が安心して話せるよう支援を行う - それぞれの利用者の強みや弱み、興味・関心を把握し、個々の特性に合った作業内容を分析する。 - 作業を通して、個々の能力を最大限に発揮できるよう支援を行う。 - 利用者一人ひとりの意思決定を尊重し、主体的に訓練に取り組める環境を整備する。 - 訓練目標の設定や進捗状況の確認等を通して、自立性を高めていく。 - 作業訓練を通して、必要な知識やスキルを習得し、能力向上を図る。 - 本人の希望や目標に合わせて、一般就労に向けた支援を行う。 - 就労移行に向けて、必要な情報提供や面接練習等を実施する。 (2)支援を行うために必要となる職員の経験・有する資格など - 准看護師の資格を保有しており、デイサービスで手作業の講師経験がある - 自営業で飲食店経験や物品の個人売買の経験もある (3)職員の質向上のための教育・研修計画 - 定期的な社内研修を実施 - その他外部の研修にも積極的に参加する (4)感染症対策 - マニュアル作成、研修を実施する (5)事故防止等の安全確保策及び発生時の対応 - マニュアル作成、研修を実施する - 避難訓練、研修等を実施する (6)関係機関との連携 - 市役所、保健所、医療機関、就労支援機関等、関係機関と密接な連携を図り、情報共有や共同支援体制を構築します。 - 多角的な視点から支援を行い、より効果的なサービス提供を目指す。 (7)家族(保護者)支援 - サービス管理者を中心に、家族の相談支援をしていく。 - 利用者や家族の意見を積極的に取り入れ、質の高いサービス提供を目指す。	

14 防災計画

○災害時の対応体制 ・災害時の指揮系統、避難経路、関係機関との連絡体制の整備 ・備蓄品準備・避難訓練の実施を行う ○避難先 一次避難先:神辺小学校 距離、避難方法及び時間:1.7km 徒歩16分 二次避難先:神辺公民館 距離、避難方法及び時間:1.8km 徒歩17分 ○防災計画等の作成 防災マニュアルの作成と周知 ○避難訓練の実施計画 年1回、全ての利用者及び職員で実施する	主な修正点

15 一日の流れ

営業日								営業時間	サービス提供時間
月	火	水	木	金	土	日	祝	8時30分～17時30分	10時～14時
☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐		

					主な修正点						
8	時	3	0	分	～	9	時	4	0	分	出勤、送迎
9	時	5	0	分	～	10	時	0	0	分	朝礼、出席
10	時	0	0	分	～	12	時	0	0	分	作業(間休憩を含む)
12	時	0	0	分	～	13	時	0	0	分	昼食
13	時	0	0	分	～	14	時	0	0	分	作業(間休憩を含む)
14	時	0	0	分	～	17	時	3	0	分	送迎、事務作業、退社
	時			分	～		時			分	

※上記と異なる営業時間・サービス提供時間がある場合に記載すること。

営業日								営業時間		サービス提供時間	
月	火	水	木	金	土	日	祝				
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐				

					意見
時	分	～	時	分	
時	分	～	時	分	
時	分	～	時	分	
時	分	～	時	分	
時	分	～	時	分	
時	分	～	時	分	
時	分	～	時	分	